

とおる通信

山本とおるから皆様へ… 区政の報告です

緑が鮮やかなすこし早い季節… 皆さん、こんにちは！



『良く分かる、区民の皆さんに信頼される区議会』を目指して

区長に質問しました…平成23年11月30日の本会議質問

直前に公表された墨田区の重要な基本計画の改定案、同じく墨田区の行財政改革実施計画の素案、そして『国際観光都市すみだ』に向けての取り組み状況について、この三本を大綱として質問いたしました。

基本計画の改定案

- ・区長自身が前計画の5年間をどのように検証、総括されたのか？
- ・5年間で約5,346億の財政計画。経済状況が不透明であるが大丈夫なのか？
- ・急激な財政出動のチェック、44の（額にして470億）整備事業の予定、5年後の財政基盤は安定しているのか？
- ・今後続く整備や工事をまとめて区民に分かりやすく、ロードマップ化して5年後、10年後のすみだは、このような街になるという将来像を示すべきである。
- ・区役所船着き場からタワーまでの観光客の導線、河川、隅田公園、東武鉄道の高架下を早急に回遊路として整備の提案
- ・大学誘致の再公募について、どんな手法を用いるのか？また、若者が集う街づくりとは？



墨田区行財政改革実施計画素案について

- ・公共施設マネジメント手法の導入目的とねらいについて
- ・（区の全ての施設を調査し白書作成の上で、財政面を考慮して新整備、廃止、再編など計画的に効率的に方針を検討し、計画に従って実施していく手法）
- ・地域、町会、区民との合意形成、をどのように進めていくのか？また期間設定が長くないか？
- ・改革の目標値の設定の明確な根拠、またこの素案から意気込みや力強さが感じられないが？

国際観光都市すみだ実現への取り組み状況

- ・観光インフラの整備と観光客に対する工事中の配慮やPRについて
- ・観光施策、ソフト面の充実について
- ・墨田を訪れたお客様がタワーの乗降だけや東京ソラマチ商業施設のみで本区観光を完結しないように、回遊して頂く仕組み作りを急げ！
- ・5階に整備する産業観光プラザ『すみだまち処』の役割について区長はどう考えるか？
- ・観光ネットワークの構築、観光資源の開発、まち歩きルートの確立、案内機能や情報発信等の課題を急がなければ…。

山崎区長の強いリーダーシップで、向島観光街づくりを推進して欲しい！

- ・まち歩きの推進を図るのであれば…向島の街の景観整備を早急に。
- ・言ちゃんというキャラクターの誕生など地域で真剣に考える機運が盛り上がりつつあり、お休み処、撮影処、観光案内所などの設置が必要ではないか？

MAKE NEW すみだ!!

墨田区議会議員 山本 とおる



この重要な平成24年度、改めて最大会派の執行部として区政に携わることになりました。

副幹事長として、しっかりと区政を把握し、区政の前進に向けて一層の努力をしてまいります。



皆さー、いこひば！

縁が鮮やかなすゞし易い季節…皆さん、こんにちは！

大変発行が遅れましたが、2期目のとある通信第一号を作成しました。 東京スカイツリーも5月22日に開業し、連日多くのお客様が墨田区を訪れ、予想以上の大きな注目を頂いています。

まさに「すみだが変わる」を実感しているところです。

墨田区議会議員

山本 とおる

東京都の発表による「総合危険度ランク」上位、 東京湾北部地震における本区の被害状況想定等々 災害に極めて弱い街』といつ汚名からの脱却



忘れがちですが、大きな変化と進化を遂げている現在の墨田区の『これから』を、先見性を持って確実にデザインしていくことも重要です。

当然ながら、まだまだ多くの課題への取り組みが必要であり、区民の皆様の笑顔や、幸せにつながるよう、一つ一つを丁寧に対応し、自覚を持つて仕事に臨みたいと考えています。

実現あるいは、今ここで道筋をつけなければいけない、大きな基本的課題があります。

1 スカイツリー開業の年であり、観光施策や新たな街の整備をしっかりと前進させること。

2 墨田区議会は『何をしているか、分かりにくい！』という区民の声を真摯に受け止る。

3 墨田区の教育については、やはり中々改善が進まない学力の向上に向け、子ども達、親にやる気を持たせる仕組みづくり。

改めて『何でダメなのか？』を真剣に考え学校現場や先生方、保護者の皆様と協調して、目に見える成果を出すことを山本流に提案していきます。

この2課題に、果敢に取り組みます。

その他にも

・区議会議員の費用弁償を即刻止めるよう提案

私たち区議会議員は言わば議会の慣習（昭和30年代から）として旅費に当たる費用弁償なるものを支給されています。この時代に合わない制度を即刻止めるよう提案し、来年の4月から廃止が実現することになりました。削減額としては、年間約700万円。遅いくらいですが、きっかけを作り一つの結論を導き出せたと思います。

・鐘ヶ淵中学校跡地に、防災機能等を併せ持つ区自前の待望の競技場を！

今年度、基本計画に入ります。子供たちが宿泊可能で多目的に使える施設も併設し、個人的には東京都から管理の委譲を受けて、区の総合運動公園構想に発展させ、鐘ヶ淵地区の活性化に結び付けようと考えてています。

・高齢者、介護施設の充実を…

特に待機者が800人といわれる、特別養護老人ホーム。事業者が決まりながら2度も不調に終わった整備計画に対して注目し質問。他の施設、サービス向上を含む、早期計画実現に向け今後とも力を入れていきます。

・すみだ北斎美術館について

資料収集が進み、設計や展示を含む建設設計画も出来上がっています。（まちづくり交付金等の整備にかかる財源も延長して確保）

ただ平成18年に作成された「施設整備方針」の現実的でない事業運営の中身について厳しく指摘してきました。（例えば想定入場者数が10万人？）区の対応は、誠に遅いですが新たな事業管理運営計画を提出させ、限りなく少ない財政負担への道を議会としてチェックしていきます。

・契約事務

疑問の残る低価格入札に対する考え方や地元事業者を育成するという観点をもつと区は取り入れるべきであるという、自分の考え方を示しました。



07
2012

自由民主党墨田区議会議員 山本とおる
とおる通信
TOORU TSUSHIN

